

近未来の社会では、人工知能を搭載したロボットが社会の隅々まで行き渡り、活躍していると思います。

まず家事や介護です。掃除や洗濯、高齢者の方の入浴の補助など多くの人が嫌がるような仕事がロボットに任せられるでしょう。そして、会社の事務経理、学校の先生、バスの運転手など高度な内容の仕事や責任の重い仕事もだんだんロボットに置き換わっていくと思います。

ところで、人間は何をしているのでしょうか。私は人間は人間にしかできない仕事をしていると思います。例えば、ロボットは介護はできるかもしれませんが、しかし、高齢者を和ませることができるかどうかは疑問です。人間は失敗をします。その失敗から人間味が生まれ、親しみが湧いてくることもあります。人間だからこそ成り立つ仕事もあるはずです。人間とロボットが役割をきちんと分担している社会になることを望みます。

私はカフェやレストランのようなお店を経営したいという夢を持っています。そのことについて両親と話していたら、「最低でも簿記の知識がないとお店はうまくいかない」と言われました。だから、私は高校で簿記を身につけ、経営の様子が分かるようになりたいです。

私の夢と人工知能はどう結びつくのでしょうか。一見、仕事の経理面は人工ロボットに任せればいいと思われるでしょう。確かに、それは効率的です。しかし、ロボットが出した結果を読み取る力がなければ、お店を大きくしたり、新しい仕事を加えたりすることはできないでしょう。大切なのは、ロボットの得意分野と人間の得意分野のバランスをとることです。お互いを助け合う関係を気づくことができれば、多くの人に喜んでもらえるお店を作ることができると思います。